告　辞

木々の緑に紫陽花の花が映える本日ここに、新たに佛教大学の学生となられます皆さん、ご入学おめでとうございます。向学心に満ち、通信教育課程での学修を志される皆さんのご入学を、佛教大学関係者一同、心から歓迎いたします。

佛教大学は、１９５３年より＜いつでも・どこでも・だれでも＞を合い言葉に、高等教育の普及と拡充、および生涯学習時代における社会人に向けた多様な学修機会の提供に努めてまいりました。通信教育の特徴は、通学のための時間的・地域的な制約を受けることなく、全国各地どこからでも参加できるところにあり、生涯教育やリカレント教育の推進といった時代の要請に応える課程であります。

本学は、６０年以上にわたりこの課程の充実発展につとめ、現在大学課程６学部１０学科、大学院課程４研究科７専攻を開設するに至っております。あわせて、教員免許状や各種資格の取得など、社会から求められる多様な要望に充分に応えることのできる教育機構を備えております。

ご承知の通り本学の基本理念は仏教なかんずく法然の教えにあることは不変であります。仏教思想の中、とくに人間形成にとって重要である「転識得智」を具体的な教育方針としています。「転識得智」とは、識を転じて智とすることであり、「智慧と慈悲」がその内容であります。

仏教的には極めて高尚な意味を持っていて理想の人生の実現（悟り）ということとなりますが、現実の生き方（世俗知）の中では智慧とは、己自身の在り方をしっかりと見つめ、自身が持ち合わせる知識（分別知）を人生のさまざまな場において、何をすべきかを判断することができ、実行してゆく力（生きる力）へと転換してゆくことと理解することができます。種々に得てきた知識を自らの生きる力へと展開させてゆける能力こそ智慧なのです。

本学においては、この智慧を磨くこと、つまり自らに足りない知識を習得するとともに生きる力へと転じる人間力を育成すること目指しています。生きる力の発揮は人と人の間、すなわち人間社会という場でのことであります。自らも生かされてある場であるがゆえに、そこで自身を活かせてゆくには慈悲を精神とすることが大事であります。

慈は積極的に他に幸せを分かち与えることであり、悲は他から苦しみを取り去ることであると教えられています。「転識得智」は決して単なる精神論なのではありません。知識を智慧に転じるには、前向きの姿勢、合理的な思考の習慣、論理的な説明能力の習得そして何よりも実行力が必要とされるでしょう。

思いが言葉となり、言葉が思考となり、思考がアイデアとなり、アイデアが行動となり、そして行動が人格を形成してゆくのであります。

通信教育という自宅での孤独な学修を基本とする課程において、当初の意志を持ち続け、高度な研究を継続させていくには、相当の覚悟と強い意志が必要とされます。しかし本学は、孤立しがちな皆さんの学修や研究を支援するために、今日的な通信技術を利用した学修方法や学修機会の提供を行いながら、教員と学生とが心を通わせることのできる、スクーリング・面接授業の実施にも力を注ぐなど多様な指導・支援体制を用意しております。また皆さんを支援するために全国各地に学友会と呼ばれる組織を持ち、ともすれば孤独な学修に陥りがちな皆さ

んの学修支援を、組織的に展開するよう努めています。このような取り組みや、学習支援のシステムを有効に活用していただき、入学されたすべての皆さんが、それぞれの目的にそって着実に学修を進め、諦めることなく所期の目標を達成されますことを心から祈念し、告辞といたします。

ご入学おめでとうございます。

平成２９年6月３日

佛教大学長　　田　中　典　彦